

令和7年度宮城高等歯科衛生士学院学校関係者評価概要報告

I 学校運営方針

宮城高等歯科衛生士学院の教育理念である、高度な専門能力・自ら課題を創造する・思いやりと社会性を持ったヘルスプロモーションの担い手として医療機関・施設・行政において、必要とされる各業務に適応できる人材を育成する。今後さらに充実させ、新たな改革と発展を目指し、教職員の意識改革・自己研鑽に努める。加えて、高度な視点から多様化した歯科保健医療を捉えた質の高い歯科衛生士として国民の新たなニーズに応えてまいります。

II 重点目標

- (1) 基本的な医学知識を備えた行動
- (2) 生涯研修と自己啓発の意識
- (3) 歯科衛生ケアプロセスの実践
- (4) 対人サービスと社会性、コミュニケーション
- (5) 研究活動の奨励、カナダカモソンカレッジとの交流

III 学校関係者評価委員会の概要

〈第1回〉

- | | |
|---------|----------------------------|
| (1) 日 時 | 令和7年8月27日(水) 午後6時30分～7時50分 |
| (2) 場 所 | 宮城県歯科医師会館 4階 会議室 |
| (3) 出席者 | 学校関係者評価委員〈順不同〉・・・ 5名 |
| | 江 草 宏 (連携校・実習協力校代表) |
| | 伊 藤 美香子 (臨地・臨床実習協力施設代表) |
| | 岡 橋 美奈子 (業界代表) |
| | 菅 原 甚 一 (地域住民代表) 欠席 |
| | 堀 込 ゆかり (卒業生代表) |

本学院

- | | | |
|-------|---|---------|
| 佐々木 | 優 | (学院長) |
| 上 原 | 忍 | (副学院長) |
| 荘 司 伸 | 樹 | (教務部長) |
| 角 田 | 哲 | (副教務部長) |

三 浦 啓 伸 （副教務部長）
小 原 由 紀 （教務主任）
阿 部 寿 郎 （事務長）

（４）内 容

① 報告

- ア 令和６年度「学校評価」事業の経過について
- イ 令和７年度の主な学校行事について
- ウ 学院の概要について

② 協議

- ア 令和６年度の自己点検評価に関する集計結果について

報告事項及び「令和６年度の自己点検評価に関する集計結果について」の協議等も含め以下のような質疑応答、意見交換が行われた。

- ・入学者数が定員より少ない状況が続いているが、定員管理の指摘等定員確保の対応はどのようにされているか。
- ・入学者数が定員を下回る状況が続いているが、定員管理に関する指摘や定員確保への対応は適切に行っている。入学者確保策としては、高校訪問、SNS、HP 等による広報活動、オープンカレッジの充実を進めているが、高校側の受け止め方や社会状況もあり、専門学校への進学者は少ない状況にある。入学者減少を踏まえ、令和８年度入試から定員を５０名から４５名に変更している。経営面では経費削減を進めている。
- ・歯科衛生士専門学校として、高校側に根強くあるネガティブイメージを払拭するため、修士課程への進学等も積極的に推進していきたい。
- ・退学者減少への取り組みとして、学生に年齢が近いカウンセラーの配置、教員による個人面談の充実を行っている。
- ・国家試験対策については、学生のノートを提出させてチェックし、課題を科すなど学生の成績に応じた個別指導を実施している。また、秋以降は下位成績者を対象とした勉強会を実施するなど国試対策の充実、強化を進めている。
- ・カナダ海外研修が中止されているようだが今後実施する等は考えているかを教えてほしい。
- ・カナダ海外研修は、旅費高騰のため今後再開することが難しい状況である。

また、カナダからは毎年6月に教員と留学生が来日し、日本文化や歯科衛生士業務を理解するプログラムを学生主体で実施していたが、今年度は派遣側の経費面から中止となっている。令和7年度の学院海外研修については、経費面を考慮して韓国のヨンソン大学に学生全員参加で実施する予定である。

- ・社会貢献、地域貢献では例えばオープンカレッジを利用して実施することなどはできないか。

- ・オープンカレッジは現在、高校生・社会人受験生への対応が中心であるため、社会貢献の場としての活用は難しい。ただし、本年度「市民の集い」において学院の実習室を開放し、子どもたちへの体験学習を行ったところ大盛況であり、今後もこうした機会を社会貢献に活かしていきたい。

- ・評価の対象として学生からの評価も大変有効と思われるがどうか

- ・昨年度、学生満足度調査を実施した。設備改善や放課後の自習室確保など、要望に基づく対応を行った。施設整備については、今後も歯科医師会との連携のもと、順次対応していきたい。

- ・高齢者の口腔衛生管理にはなかなか手が回らない現状があり、月1回の学院の実習では、学生が困っている患者に適切なアドバイスを行っており、現場からも高い評価を得ている。

- ・地方で活躍できる歯科衛生士として、将来的には行政でコーディネーターとして活躍することも期待している。